

節目（ふしめ）



タケ
花言葉・・・「強い心」

校長 山浦 麻紀

「節目があるから竹は強い」という言葉があります。1日に1メートル近く成長することもある竹は、自分自身を支えるために節目を作り、雪が積もった時などは大きく「くの字」になりながら重みや強風に耐えることができます。私たちも同様に節目となる事柄を経験して成長するのだと思います。多くの節目を作りながら柔軟で強い心をもった人になれるよう努力していきたいものです。

3月、学校では本年度のまとめの季節、そして、別れの季節となりました。

学校にもいろいろな節目があります。行事や各学期がそれに当てはまりますが、大きな節目は年度末に訪れます。まもなく学年が一つ進み、1年生は先輩と呼ばれる立場、2年生は最上級生として学校をグンと引っ張る立場になります。それぞれに1年間過ごし、見事に自分の節目を作りながら成長してくれています。

そして、3年生にとっての最も大きな節目は3月15日（金）の第77回卒業証書授与式となります。きっと、きっと、自慢の3年生だからこそ、9年間の義務教育の修了となる大きな節目となるこの日、立派に未来に向けて旅立ってくれるものと思います。

さて、本日は公立高校入試の発表日です。「気品の岸、美の学園」の愛らしい3年生が、自分のよさを伸ばし続け、颯爽と前へ歩み続けてくれることを願います。

2年生の「卒業生から学ぶ会」では、実に多くの卒業生に参加していただくことができました。ありがとうございました。身近な先輩が、いつ頃、どのような思いで頑張り抜き、今現在、どう Well-Being の生活を送っているか等、生徒達は目を輝かせて聞き入っていました。嬉しい限りです。

1年生は2月26日から行われた「たかつえ自然の教室」（スキー教室）が無事に終了いたしました。インフルエンザの流行時期と重なり、心配もありましたが、大きな病気やけがもありませんでした。仲間とともに、頂上から雄大な景色を眺めることができたことや、スキーの技術も大変上達した様子で、胸を張って満足そうに帰ってくる生徒を出迎えることができました。

「脱コロナ 岸中 前へ！」の令和5年度も、残りわずかとなりました。保護者の皆様方、地域の皆様方、同窓生の皆様方には、いつも本校の教育活動にあたたかな御理解と御協力をいただき、有難うございました。